

# 大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1<sup>m</sup>あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )		
		4/6-4/13	4/13-4/20	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.053	0.053
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	0.018
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.040	不検出
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.049	0.039
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.032	不検出
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.040	不検出
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.030	不検出
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.13	0.030

測定地点		放射能濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )		
		4/6-4/13	4/13-4/20	
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.028	0.012
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	不検出

※検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m<sup>3</sup>の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

●渡邊正己京都大学名誉教授  
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説●

この半年間の測定結果は、原発事故以前の放射能濃度の変動域に留まり、健康影響への心配はいりません。また原子力発電所では廃炉に向けた作業が進められ、この間においても放射能からの安全確保のため、現状把握を継続していく必要があります。

宇宙万物・万象が放射線エネルギーで動かされていることが科学で明らかにされている中、海外で原子力発電所が紛争に巻き込まれるなど、科学の成果を人類の為にどのように使い、「安全と幸せを実現できる場所」を育てられるかを真剣に考える必要があると思います。